〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1六甲ビル8F TEL.03-3297-5601

http://www.pvc.or.jp

トップニュース1
温暖化防止の切り札、塩ビサッシ用形材のJIS制定性能・品質保証で普及加速に期待大。プラサッシ工業会にVECも協力
トップニュース2
塩ビ管リサイクルで意見交換
^{視点・有識者に聞く} 4 地域に根ざす、環境ボランテイアの役割
「より良い地球環境を次世代に」。区民、在勤者、企業、団体、行政が協働中央区環境保全ネットワーク代表 川名一榮氏
リサイクルの現場から 7 軟質塩ビ製品のマテリアルリサイクル最新事情
日本ビニル工業会
インフォメーション1 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――
塩ビサイディングの普及に、新たな「追い風」 阿蘇市が公営往宅改修に塩ビサイディングを採用。公共施設の需要に道
インフォメーション2 — 12 快調、住宅エコポイント。エコリフォームが加速
山形県鶴岡市でも「塩ビサッシで断熱改修」。利用者から喜びの声
塩ビ最前線 14 日中で1 ニッグ美味 『ュー・カロアシェル 』 12 年 ブメフトル
温泉でトラフグ養殖。『ユニーク町おこし』に塩ビもひと役養殖用水槽に塩ビターポリンを使用。丈夫で長持ち、施工もカンタン
広報だより 15 「巨主人へ」はよくカルにより高しる指は第一大DD
「長寿命でリサイクルにも適した塩ビ管」をPR 塩化ビニル管・継手協会が「下水道展10名古屋」に出展



温暖化防止の切り札、塩ビサッシ用形材のJIS制定

性能・品質保証で普及加速に期待大。プラサッシ工業会にVECも協力

塩ビサッシ用形材のJIS (日本工業規格) が制定されました (JIS A 5558 無可塑ポリ塩化ビニル製 建具用形材/4月20日官報告示)。原案作成団体であるプラスチックサッシ工業会(塩ビサッシメー カーの団体)を中心に、塩ビ工業・環境協会(VEC)も協力して実現したもので、念願のJIS制定によ り、塩ビサッシの今後の普及に弾みがつくことが期待されます。

●原案提出から7ヶ月、異例の早期制定

優れた断熱効果により、建築物・住宅の地球温暖化防 止の切り札として期待を集める塩ビサッシ。今年からは 「住宅エコポイント制度」の対象製品にも加えられ着実な ニーズの高まりを見せる中、その性能、品質を保証する JISの制定は今後の普及促進にとって最大のポイント。

プラスチックサッシ工業会では、(財)日本規格協会のJIS 原案作成公募制度を利用して塩ビサッシ用形材のJIS化へ 向け2009年1月にJIS原案作成委員会(委員長:清家剛東 京大学大学院准教授)を立ち上げて作業に着手。3回の 本委員会を経て、2009年7月に同協会に原案を提出しま した。通常1年から1年半を要するJIS原案作成作業を 7ヶ月で完了、概ね1年で制定にこぎつけたことは、「異 例の早期制定」と業界の注目が集まっています。

●メーカーの利害関係を超え厳格な規格づくり

JIS A 5558では、材料の性能、形材の寸法・外観・性 能及びそれらの試験方法について規格化されています。 さらに、工場端材及び建築廃材から得られる再生材料 (リサイクル材料) を用いた形材について明記されている ことが大きな特徴。本JISに適合する形材を用いることに より生産者は一定品質の塩ビサッシを安定的に供給でき、 消費者、ユーザーも安心して良質な製品を採用できるメ リットが期待されます。

プラスチックサッシ工業会の高田和規技術委員長(㈱ エクセルシャノン開発技術本部主任)の話。

「塩ビサッシにはもともと『JIS K 6785硬質ポリ塩化ビ ニル製窓枠用形材』というIISがあったが、2002年5月に 廃止。以降塩ビサッシの普及について、JISがない為に国 への働きかけが進まない状況となっていた。今回の新JIS 制定によって、塩ビサッシの技術的な妥当性の向上と共 に、認知度の向上が一層期待される。業界として、国土

交通省の公共建築工事標準仕様書や 公共建築改修工事標準仕様書への記 載の要望提出など様々な取り組みを進 めている。塩ビサッシ・内窓について は、特記仕様書に記載されるなど波及 効果も生まれている。



高田技術委員長

原案作成に際しては、30年を超える 塩ビサッシの日本市場における実績を踏まえて、カラー化 等新技術への対応に加え、欧州規格 (EN 12608) との差 異も比較しつつ規格作成に取り組んだ。形材の反り率や 耐候性能における変退色などは、廃止となったIIS K 6785より厳しい性能に見直した。原案作成委員会では、 中立者、使用者、生産者の方々にご参画頂き、特に消費 者の視点からの議論を活発に行うことができた。メー カー相互の利害関係を超えてより良いものを作ろうという 業界の意志を反映することができたことで、ご参画頂い た方々や関係者の方々のご協力に大変感謝している。

今回の制定で、省エネ改修(官庁、学校)のアイテム としての内窓について特記仕様書が作成され、国交省・ 営繕管轄の発注工事の見積もり仕様となり、BL(ベター リビング)優良住宅部品認定基準の制定等塩ビサッシの 普及促進の足かがりとなった」

●5年後の改訂に向け課題の検討を継続

工業会では、継続課題である加熱伸縮性、耐候性能の 評価方法などについて5年後の改訂時に向け検討中。ま た、「JIS A 4706サッシ及びJIS A 4702ドアセット (どちら も原案作成団体: (社)日本サッシ協会) に樹脂製建具用の 主要材質のひとつとして追加引用掲載」の協力を依頼す るなど、妥当性ある規格を提供していくため業界連携も視 野に入れた活動強化も必要と考えられています。



鹿島建設傑と塩化ビニル管・継手協会が 塩ビ管リサイクルで意見交換

去る5月25日の午後、大手ゼネコン鹿島建設㈱各支店の 環境部門担当者らが、塩化ビニル管・継手協会のリサイク ル協力会社である大水産業㈱(佐藤志郎社長、さいたま市 岩槻区)を訪れて、塩ビ管リサイクルの模様を見学。塩ビ 管の全国リサイクルシステムを運営する協会との間で、今 後の連携の可能性などについて意見交換を行いました。



見学の模様 (中央が鹿島建設の米谷秀子次長)

●「塩ビ管リサイクルの受け皿」として注目

見学に参加したのは、鹿島建設安全環境部次長兼施 工環境課長の米谷秀子氏ら22名。同社では現在全国の 各支店単位で建設廃棄物のゼロエミッョンに取り組んで おり、その主要品目のひとつである塩ビ管についても 「リサイクルの受け皿」となる施設の選定やネットワーク づくりが重要なテーマとなっています。

一方、塩化ビニル管・継手協会のリサイクルシステム は、全国75カ所の受入拠点(リサイクル協力会社、中間 受入場、契約中間処理会社の3種)に持ち込まれた使用 済み品を再生原料に加工し、会員会社やリサイクル協力 会社がリサイクル管を製造販売する仕組みです。年間の リサイクル量はおよそ2万トン(2009年度、フィードス トックリサイクルを含む)で、文字どおり「塩ビ管リサ イクルの受け皿」として着実な実績を積み重ねています。

今回の見学会は、こうした協会の塩ビ管リサイクル事 業に注目した鹿島建設が、大手ゼネコンに向けて積極的 な普及活動を行っている協会の申し出を受ける形で実現 したものです。

● 各現場のできる範囲で協会のシステムを利用

見学の現場となった大水産業は協会のリサイクル協力 会社のひとつ。使用済み品の回収から再生原料加工、リ サイクル管の製造販売までを行っています。

見学当日、鹿島建設の一行はまず大水産業本社で塩 化ビニル管・継手協会の石崎総務部長、大水産業の佐 藤社長らから、リサイクルシステムの概要や事業の現状 などについて説明を受けた後、隣接した工場で選別工程 や粉砕工程などの模様を見学。担当者の説明を聞きなが ら、塩ビ管の種類の違いや汚れ具合による選別方法など を熱心に確認していました。

見学終了後に行われた意見交換の場では、参加者か らリサイクル品とバージン品の価格差などについていく つか質問が出されました。

また、石崎総務部長が「リサイクル材の受入方法には 有価購入方式と処理委託方式の二つがあり、排出者が自 分で前処理(汚れ落としや異物除去など)を行ったもの は有価で受け入れる。全国の受入拠点は場所によって充 実度に差があるが、鹿島建設の地域状況に合わせて、そ れぞれの地域で当協会のシステムの活用をご検討いただ きたい」と事業への協力を依頼したのに対し、米谷次長 も、「使用済み塩ビ管を有価で買い取ってリサイクル管 に再生するという取り組みは、各支店の環境担当者の参 考になったと思う。今後は支店ごとに、付き合いのある 回収業者にできるだけ協会の受入拠点に搬入してもらう ようにするなど、それぞれの現場でできる範囲内で無理 なくシステムを利用する方向を考えたい」と、協会との 連携の可能性を語っていました。



説明を聞く鹿島建設のみなさん

地域に根ざす、環境ボランテイアの役割

「より良い地球環境を次世代に」。 区民、在勤者、企業、団体、行政が協働

中央区環境保全ネットワーク代表 **川名 一榮** 氏



●中央区の環境問題を解決する

中央区というのは、東京23区の中では千代田区の次に 人口の少ないところで、区内の在住者は11万人ぐらいし かいません。ところが、日本橋、銀座といった大きなオ フィス街を擁しているため、昼間の人口は65万人ぐらい に膨れ上がってしまいます。それだけ在勤の人が多いわ けです。ですから、例えば区内のごみの排出量の9割は 企業から出る分ですし、水や電気の消費も事情はそう変 わりません。つまり、CO2の削減でも省エネ・省資源で も、在勤者と区民が一緒に取り組まないと中央区の環境 問題を解決することは不可能なのです。

このことは以前から指摘されていたことで、2000年に 中央区が策定した環境保全行動計画でも「行政、在勤と 在住の個人および民間団体、事業者とパートナーシップ を築くこと」が求められていました。また、2001年には 地域の環境問題を行政に提言する東京都環境保全推進 委員会の地域集会が廃止となり、都の方針も、地域の環 境保全は地域の人々の「協働」でという方向に切り替わ りました。

中央区環境保全ネットワークは、こうした動きをきっ かけに2002年に設立されました。私たち中央区の在住者 と在勤者、事業者が一緒になって、行政と連携しつつ、 自分たちの手で区内の環境を守っていく。その思いをひ とつにして、環境保全推進委員で区の環境保全行動計

画策定委員・環境カウンセラーの喜納愛子(後に同ネッ トワーク初代代表)、東京都環境学習リーダーであり中 央区環境行動計画推進委員会委員の篠原良子(2代目 代表)、さらには中央区女性海外研修者の会(かつて中 央区が実施していた中央区女性海外派遣事業の参加者 の団体) に所属している主だったメンバーが集まり、環 境問題に関心のある多方面の人々に呼びかけたり、新宿 区など在勤者の多い他の区の取り組みも参考にしたりし て組織づくりを進めました。

★中央区環境保全ネットワーク

2002年1月、中央区 内の在住、在勤の個 人、民間団体、事業者 が連携して発足した環 境ボランティア団体。



を次世代に残すこと|

「より良い地球環境 左から、川名さんと、顧問の篠原さん(2 代目代表)、喜納さん(初代代表)

を目的に、会員相互の情報交換や地域住民との交流会、研 修会等の開催、区の環境行政に対する提言など、生活の場 と結びついた環境保全活動に取り組んでいる。中でも、子 どもたちや地域の人々を対象とした体験型の環境学習イベ ント「子どもとためす環境まつり」の企画・開催は、中央 区民ばかりでなく、他の環境団体や国の環境行政機関など からも高い評価を受けている。会員数は個人会員および企 業・団体会員合わせて約110者(うち企業・団体は約40)。

機関紙『かんきょうねっと』を年2回発行。

URL=http://www.geocities.jp/chunet2005/

中央区環境保全ネットワークの活動に敬意 中央区環境部長 田中 武

中央区は、平成20年3月に改定した「中央区環境行動計画」で、望ましい環境像を「水辺や豊かな緑と共生し、みんなで環 境をよくするまち中央区」とし、その達成に向け、地球環境、都市環境など五つの基本目標を定めています。その中のひとつ 「地域の環」では、区民・事業者・区が協働して、楽しみながら環境活動を実践しているまちをつくることを目標としています。 中央区環境保全ネットワークの皆さんと区とは、毎年度開催している「子どもとためす環境まつり」を始め、日々の様々な活 動において連携と協働を深めております。皆さんの活動を核として、まさに「地域の環」ができあがっています。

環境保全ネットワークの日々の活動、積み重ねに敬意を表するとともに、今後ともその活動が隆盛となり、区との連携協働が - 層深まることを願っております。



●行政の理解と企業の協力

もっとも、企業との協力は初めから上手くいったわけ ではありません。当時の企業は環境問題とか、CSR(企 業の社会的責任)とかに対する理解が必ずしも十分では なかったし、こちらも設立したばかりで、まるで実績が ないわけですからね。企業も腰が重かったんです。訪ね ていって「担当の方にお目に掛かりたい」とお願いする と、「ちょっと待って」と言っておきながらその後全く梨 のつぶてだったり、今でこそ「嘘でしょ」と言われるよ うな話ですが、当初はほんとにそんな試行錯誤の繰り返 しでした。

それでも、中央区の理解と協力があったので、2年ぐ らい経った頃から、区の環境部を通じて「入りたい」と 言ってくる企業が増えてきて、段々一緒に活動してもら えるようになりました。中央プラネット(中央区社会貢 献企業連絡会)の活動に参加した縁で、浜離宮恩賜庭 園の自然保護活動に取り組むようになりました。今では 日本を代表するような大手企業も会員として浜離宮で自 社独自の活動を展開しているところもあります。また研 修会などでお話してもらったり、イベントでタイアップ したりといった形でバックアップしてくれる企業もたく さんあります。特に年1回開催する「子どもとためす環 境まつり」には、CSRの一環として毎年多くの企業がお 金も知恵も人も技術もすべて結集して協力してくださる ので、ほんとうに感謝しています。

●体験型学習イベント「子どもとためす環境まつり」

私たちの最大の目的は、健康で快適な地球環境を次世 代に受け継いでいくことですから、子どもたちに期待す るところがとても大きいのです。今年で7回目を迎える 「子どもとためす環境まつり」も、そうした次世代の環 境学習を応援したいという願いからスタートしたもので、 体験型環境学習という点に私たちの思いが込められてい ます。

なぜ体験型なのかというと、子どもたちにとっては、 テーブルに着いて難しい講義を聴くより、自分自身で 触ったり見たりして体験するほうが楽しいし、何かの気 づきを得る一番のきっかけ作りになるということです。 そして、その気づきの中から、今すぐでなくても、電気 を大切にするとか、生き物を守るといった心がどこかで

★子どもとためす環境まつり

中央区環境保全ネットワークが「地域に根ざした環境 学習の機会」として、区内の小学校を会場に巡回開催す る体験型環境学習(共催=中央区)。2004年に区立月島 第二小学校で第1回が開催された。毎回、区内の区民や企 業、団体などがブースを設けて、「親子で学ぶ環境問題」 をコンセプトに多彩な展示活動を繰り広げている。昨年 の第6回は区立久松小学校を会場に開催され、企業・団 体29、小学校6校が参加した。今年は10月9日、区立佃 島小学校(中央区佃)で開催される予定。

育ってくるように願っています。参加団体もいろいろな アイデア企画で環境や資源の大切さを体験をさせてくれ ますが、企業の人も「手作りで子どもと一緒に楽しめる のが何より魅力 | と評価してくれています

学校のほうも、初めは会場を提供するだけでしたが、 2回目の久松小学校(中央区日本橋)のときに「せっか く学校で開催するのだから子どもたちにも自分たちで発 表してみたらどうでしょう」と提案したら、先生方も 「じゃあ生徒も何か一緒にやるようにしましょう」という ことになって、徐々に他の学校にも参加してもらえるよ うになってきました。もちろんPTAや地域の町会などに も協力をお願いしていますから、全体で1000人ぐらいの 人がこのイベントに関わることになります。来場者の中

には「自分も何かやっ てみたい」という人も 出てくるし、そういう 形でだんだんネット ワークが広がっていく のはとても嬉しいこと です。



「子どもとためす環境まつり2009」 の会場風景

●「サーモンプロジェクト」の取り組み

それと、区立日本橋小学校で開催した第5回目(2008 年)からは、このイベントを「サーモンプロジェクト」 と関連させて展開しています。「サーモンプロジェクト」 というのは、日本橋小の校長先生が「サケの稚魚が生ま れた川に戻ってくるように、日本橋小で学んだ子どもた ちが大きくなって、また日本橋に戻って活躍して欲し い。そういう思いで私は教育をしています」とおっ しゃったのをキッカケにスタートしたもので、「環境まつ り」で学習した子どもたちにも、いろいろな経験を通じ

て成長した後、再び中央区に戻って環境保全に取り組ん でほしい。そして日本、世界、宇宙全体をよくしていっ てほしい、という願いを込めています。事前にプロジェ クトに参加する子どもを募集して、「環境まつり」の当 日、サーモンピンクのお揃いのTシャツで会場のサポー トスタッフとして活躍してもらうのですが、こうした体 験が糧となって将来1人でも多くの子どもが中央区に 戻ってきてくれればと思います。





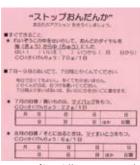
子どもたちが描いた「環境まつり2009」の ポスター

昨年、第2回 に続いて再び久 松小学校を会場 に選んだのもプ ロジェクトの一 環みたいなもの です。このとき

は学校の協力で、80人の4年生全員にイベントのポス ターを描いてもらって校内に展示したのですが、どの作 品も温暖化の問題や自然の大切さなどのメッセージを込 めた素晴らしいものばかりで、先生方もびっくりされて いました。この子どもたちは前回はまだ幼稚園生だった のです。それがこんなに凄い発想をするまでに成長して いたなんて、「1回目の体験学習をしっかり身に付けて 再び『環境まつり』に戻ってきてくれたんだな」と感じ ずにはいられませんでした。

●環境ボランティアは「宝の山」

ところで、いま私たちは「ストップ温暖化アクション 参加カード」というものを区に提案しています。これは 区が作成した「中央区版二酸化炭素排出抑制システム」 (CO₂抑制のために区民が無理なくできる取り組みをシス テム化したもの。家庭用と事業所用がある) のミニ版の ようなもので、電気の節約やごみの削減など生活の中で



ストップ温暖化アクション参 加カード (子ども用の一部)

実践できたことを記録して 「環境まつり」に持ってきても らうとプレゼントがもらえる という仕組みです。私たちか ら見ると区のシステムは ちょっとレベルが高すぎるの で、もう少し敷居の低い皆が 簡単に取り組める内容にし

て、大人用と子ども用の2種類を用意しました。こうし た区と区民の間をつなぐというか、地球環境問題を身近 に実感できるきっかけづくりも、私たちの大切な役目だ と思っています。

企業とも常に対話をしながら環境保全の努力を求め続 けていきたいと思います。塩ビ業界にも、「子どもとため す環境まつり」や、先日の「第9回中央区ブーケまつり」 (中央区で活動している様々なグループが活動成果を発 表するイベント。6月25~26日、中央区立女性センター 「ブーケ21」で開催)などで、いろいろとご協力いただ いていますが、これからもそうした体験の場を積極的に 提供してもらいたいと期待しています。

最後に、環境ボランティアに取り組む人々へのアドバ イスをひとつ。環境ボランティアの活動を維持していく 上で何より大切なのは、組織としての和をいかに保つか ということです。環境活動には様々な人々がそれぞれの 思いを持って参加してきます。その中にはいろいろな技 能の持ち主が多く、アイデア、発想も多彩で、まさに宝 の山のようなものです。そういう人たちが、それぞれの 意見をオープンにしながら自由に議論を進めて、最終的 にひとつの合意に到達する。それができれば組織として 長く続けていくことができます。環境に関して無駄な意

見というのはないん です。代表の仕事と は結局、多様な意見 の中からどこを吸い 上げて、ひとつの和 合体にまとめ上げる かということに尽き ると思います。



中央区環境保全ネットワークとともに、 塩ビ業界も参加した「中央区ブーケま つり」(中央が川名代表)

かわな・かずえ

明治薬科大学卒。薬剤師・主任ケアマネジャー。東日本橋 で薬局、居宅介護支援事務所などを営む傍ら、中央区環境保 全ネットワークの設立に参加。現在、同ネットワーク代表の ほか、東京都環境学習リーダー連絡会、エコ・ビーイング (環境学習リーダー中央の会)、集団回収リサイクル虹会長な ど中央区の環境ボランティアの中心的役割を果たす。中央区 地域包括支援センター運営協議会委員、清掃リサイクル推進 協議会委員を担当。



軟質塩ビ製品のマテリアルリサイクル 最新事情

日本ビニル工業会 業務部長 鈴木 環

昨今、石油資源の枯渇化、地球温暖化、資源循環等の環境問題がクローズアップされていますが、世 間での塩ビに対する意識が変わり、省資源、リサイクル可能、環境負荷小、長寿命などの点から再評価 する動きがあります。軟質塩ビ製品の特長の一つであるリサイクルについて、手法や主な製品の現状を まとめてみました。

●様々な商品に形を変える軟質塩ビフィルム・シート

消費者に身近な軟質塩ビ製品は塩化ビニル樹脂に可塑 剤や添加剤を配合し、薄膜成形加工した軟質塩ビフィル ムをベース(素材)としています。

その軟質塩ビフィルムに着色や印刷加工、エンボス加 工(表面に凹凸模様を付ける加工)、接着加工(高周波 での熱溶着)等の二次加工を行い、文具用品、農ビ、シー ト、ラップフィルム、手袋等の製品に、また紙や布を貼り 合わせて、壁紙、床材、家具、鞄、袋、工事用シート、 長靴など、身近な軟質塩ビ製品に商品化されています。

●プラスチックリサイクルの3つの方法

プラスチックのリサイクル方法としては大きく分けて三 つあります。材料に戻すマテリアルリサイクル、化学原料 に戻すケミカルリサイクル、そして熱利用するサーマルリ サイクルです。各種プラスチックはその樹脂特性や製品 形状に適応したリサイクル方法を行っています。

塩化ビニル製品の特長の一つとして、軟質・硬質製品 ともに高度なマテリアルリサイクル適性が挙げられます。 その理由は次の通りです。

- 1. 塩ビは耐久性があり長期間の使用やリサイクルの過 程で劣化が少ない。
- 2. 塩ビ廃材は添加剤(安定剤等)を追加することも可 能。幅広い用途の製品に生産・加工できる。
- 3. 塩ビは塩素原子を含む非結晶性構造の為、可塑剤、 無機物等の物質と相溶性が良く、他の物質(異物等) 混入による加工への影響が少ない。
- 4. 塩ビは多岐にわたる再生用途を持っている。(床材・

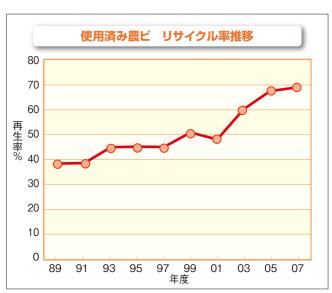
レザーの下地シート、各種フィルム・シート、ペットの 脱臭材、吸着剤等)

また、塩ビのマテリアルリサイクルにもいくつか手法が あります。パイプからパイプなど元の製品にリサイクルさ れる方法(水平リサイクル)と廃農ビから床材など違う 製品にリサイクルされる方法(カスケードリサイクル)、 塩ビ材料として他のシートに添加したり、裏地シート等に 再加工される方法(工場内リサイクル)などです。

●リサイクルの優等生=農業用塩ビフィルム

農業用塩ビフィルム(農ビ)は軟質塩ビ製品の中で最 もリサイクル率が高く2007年の実績は69% (36.200トン) で廃農ビが塩ビ床材などの原料にリサイクルされました。

農家、農協、市町村からなるリサイクル組織(各協議 会)により、廃農ビを分別、回収し、全国にある再生工 場にて再生原料化されます。



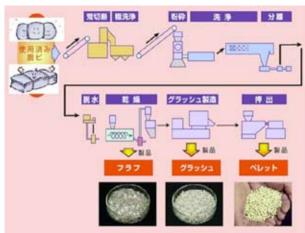
農家から回収された使用済み農ビは下図のような工程 で処理され塩ビ再生原料に生まれ変わります。

農業用フィルムリサイクル促進協会(NAC)は広報・ 啓発活動を中心に活動し、全国の協議会を訪問したり、 研修会で講演するなどリサイクルの推進を図っています。

現在では廃農ビ簡易洗浄による安価な再生塩ビの海外 輸出が増加し、国内ルートとの複数処理ルートが混在し、 国内再生工場も厳しい経営になっています。

処理コスト、省資源を考慮し、国内のリサイクル方法 のあり方が問われています。

また、素材の違う農業用POフィルムや農業用ポリエチ レンフィルムは現状では異なるプラスチック原料のフィル ムが分別されず一緒に回収される為、マテリアルリサイク ルが困難となり、サーマルリサイクルされています。



廃農ビの処理工程

●塩ビ壁紙のリサイクル

塩ビ壁紙は現在、一般住宅、マンション、店舗などの 壁紙の約95%のシェアを占め、幅広く使用されています。 その理由としては、デザイン性、意匠性、防汚性、施工 性、経済性など紙製や布製に比べ優れているからです。

壁紙のリサイクルについては以前より、メーカー・問 屋・施工業者の壁紙関連3業界で構成する「日本壁装協 会」を中心に塩ビ工業・環境協会(VEC)も支援し積極 的に取組んでいます。

【活性炭化して脱臭・吸着剤に】具体的には(株)クレハ環境 がVECのリサイクル支援制度を利用して取組んでいる 「塩ビ壁紙廃材を原料とする吸着性炭化物製造」が注目 されています。

これは塩ビと紙の複合材である塩ビ壁紙廃材をまるご

と熱分解(活性炭 化) させ、その炭 化物を脱臭材やダ イオキシン類の吸 着剤などに利用す るユニークな取り



原料の廃塩ビ壁紙 組みです。

炭化物

【叩いて分ける、高速遠心叩解法】 アールインバーサテッ ク㈱の高速遠心叩解法による塩ビ壁紙のマテリアルリサ イクルもVECのリサイクル支援制度を利用し、実用化さ せた新技術です。

高速遠心叩解法とは壁紙やターポリン、レザー等の 紙・布を含む複合製品を塩ビと布・紙の接着部分を高速 回転で叩いて剥離させ、同時に比重を利用し、分離回収 する方法です。

これまで、リサイクルが困難であった塩ビと繊維・紙の 複合製品の素材分別が可能となりリサイクルに幅広く適 用される技術です。

実際に壁紙・床材メーカーに一部の装置が導入され、 工場内で不良品や端材の廃プラ減量化やリサイクルなど に利用されています。

※詳しくはPVC69号を参照してください。



「壁紙再生システム」の処理フロー

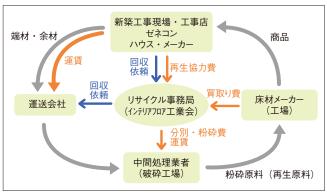


●床材から床材へ。グリーン購入法の特定調達 品目に認定された製品

ビニル系床材はマンション、病院、学校、店舗などの 床に施工するシート状またはタイル状の塩ビ系床材です。 表面層は耐摩耗性、デザイン性を要求されることから塩 ビ樹脂分の多い着色層、または透明層・印刷層があり、 中間層・下層には寸法安定性を出すための層やクッショ ン性を付与する発泡層を有し、最下層には接着性と寸法 安定性のための織布やガラス織布等を使用した基布層を 有するなどの多層構造となっています。

床材はもともと端材や農ビなど他の塩ビ製品の再生材 を裏層に使用しており、塩ビ製品再生材の主用途として、 重要な役割を担ってきました。再生材の使用比率は高く、 グリーン購入法の特定調達品目に認定された製品やエコ マーク商品に再生材を使用したビニル系床材として指定 されています。

床材メーカーで組織されるインテリアフロア工業会では 共同で床材のマテアリルリサイクルに取組んでいます。ビ ルやマンションなどの新築工事現場から出る端材や余材 を回収し、粉砕処理した後各社の工場で再び床材にマテ リアルリサイクルするものです。



床材のマテリアルリサイクルのしくみ

●タイルカーペットのリサイクル。エコマーク認 定商品も

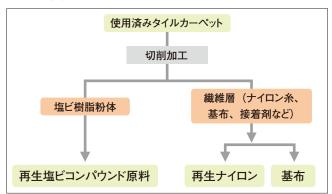
オフィスやデパートなどのフロアを美しく彩るタイルカー ペットは50cm角の正方形でタイルのように敷き詰めて使用 します。一般にポリエステルなどの基布にナイロンパイル (糸の束) を刺繍し、塩ビのバッキング層で裏打ちした構造 で分離分別が困難でリサイクルしにくいとされていました。

このタイルカーペットのリサイクル事業に取組んだの が、リファインバース(株)(本社:東京中央区京橋)で独 自の精密切削加工により繊維 層と塩ビ層を分離、粉体化し て、タイルカーペットの再生 原料としてマテリアルリサイク ルを可能としました。また、 塩ビ以外の繊維層もナイロン 糸として分離し、ペレット化 して、成形品の原料として再 資源化を図っています。



エコマーク認定品

こうした中、再生原料を使用したタイルカーペットは 2004年にはグリーン購入法の特定調達品目に指定され、 2005年には日本環境協会のエコマーク対象商品にも認定 され業界挙げてのリサイクルへの取組みを進めています。



タイルカーペットのリサイクルフロー

●リサイクルを循環させるには

軟質塩ビ製品のリサイクルはフィルム・シートの構成 (単体・複合材) や分別の有無、選択方法、汚れ状態・ 品質 (廃棄、端材)、回収ルートなど多くの要因がリサイ クルのしやすさに関係しています。

また、廃塩ビ製品の分別や回収、再生に係る再生樹脂 コストもバージンの塩ビ樹脂と競合する上で、重要なポイ ントです。

品質の安定した使用済み塩ビ製品を安定した回収ルー トを通じて、安価な再生樹脂を得るため、環境性、合理 性に基づいたリサイクルシステム構築(廃塩ビ排出、分 別回収選別、再商品化)が必要とされます。当然、リサ イクルを循環させるため、新規の塩ビリサイクル品市場 の拡大や開拓も必要です。

今後、業界団体とも協力し、塩ビのリサイクルを通じ て、石油などの枯渇資源節約や温暖化防止、循環型社会 に貢献していきたいと思います。

インフォメーション

塩ビサイディングの普及に、 新たな「追い風|

阿蘇市が公営往宅改修に塩ビサイディングを採用。 公共施設の需要に道



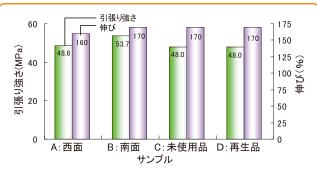
塩ビサイディングでリフォームされた 阿蘇市の市営住宅

"塗装のいらない外装材"塩ビサイディングに新たな追い風が吹き始めました。熊本県阿蘇市はこの春、公営往宅の リフォーム用に信越ポリマー㈱の塩ビサイディングを採用。今年から本格施工となる見通しで、同社はこれを機に公 共施設での需要を積極的に拡大していく計画です。阿蘇市との交渉を担当した同社塩ビ事業本部の宮本康平サイディ ンググループマネージャーに、事業の現状と今後の課題などを聞きました。

●30年間メンテナンスフリーに近い耐久性

塩ビサイディングは、1960年代にアメリカで開発され た家屋の外装材。金属系や窯業(セメント)系など従来 の外装材にはない様々な特長を備えていることから、現 在では北米を中心に、新築からリフォームまで幅広く利 用されており、日本でも近年着実に普及が進んでいます。

塩ビサイディングが持つ様々な特長の中でも特に注目 すべきは、その優れた耐久性。弾力性に富み衝撃にも強 い塩ビサイディングは、錆びることもなく、凍結でひび 割れすることもありません。また、酸やアルカリといっ た薬品にも強く、海からのしぶきによる塩害や都市部で の酸性雨、火山灰などによる錆び、腐食などの心配があ りません。



■塩ビサイディングの耐久性

上の図は、樹脂サイディング普及促進委員会が、岩手県安 比高原のペンションで15年間使用された塩ビサイディングを 用いて行った強度試験(引張り試験:2000年度実施)の結果 をまとめたもの。

建物の西および南施工面から採取したサンプルA、Bの引張 り強度、伸びはいずれも、保存されていた未使用品Cとほとん ど変わりません。また、サンプルA、Bを混合した再生品Dも、 未使用品Cと変わらない強度を示しています。

さらに、他の外装材のような表面塗装ではなく、材料 自体に顔料を練り込んでいるので、表面が剥げたり、色 むらができたりすることがなく、めんどうな塗り替えも 不要。簡単な水洗いで程度で30年以上にわたって美しい 外観を保ちます。

このほか、軽くて施工が簡単なこと、特にコスト面で は、メンテナンス費用がほとんど掛からないことなどを 考慮すると、塩ビサイディングは各種外装材の中で最も 経済的な製品といえます。

今回、阿蘇市が塩ビサイディングを市営住宅のリ フォームに採用したのも、長寿命でランニングコストが 小さいという塩ビサイディングならではの特長を高く評 価した結果といえます。

●ランニングコストの安さが決め手に

塩ビサイディングが施工されたのは、阿蘇市の市営住 宅の中の8棟。宮本マネージャーの話では「実現まで3 年の期間を要した」といいます。



宮本マネージャー

「3年前に阿蘇市役所の建設 課から当社のホームページに直接 連絡があったのをきっかけに、両 者の間で検討を重ねてきたが、話 が具体的になったのは昨年に入っ てから。阿蘇市には築35年を過ぎ た市営住宅が850戸以上あるが、 そのうち何棟かを選んで試験的に

塩ビサイディングを施工してみようということで、トン トン拍子に事が運んだ |



当初阿蘇市では、塗装(塗り替え)や金属系も選択肢 に入れていたようですが、塗装の場合、材料費は安いも のの、最低でも数年に1回は塗料を塗り直さなければい けないこと、また金属系の場合は、多彩なデザイン性を 有するものの、材料費が高い上に錆びたり凹んだりして メンテナンスに手間がかかること、などがネックとなり ました。最終的に塩ビサイディングの採用に落ち着いた のは、初期投資をしてもランニングコストが小さいのが 最大の理由ですが、これに加えて、阿蘇は火山が近くに あること、冬は厳寒、夏は酷暑にさらされて建物の劣化 や凍害も多いという盆地特有の環境に対応できることも 決め手のひとつとなっています。

施工後、住民からは「見違えるようにきれいになっ た | 「前より暖かくなった | といった声が上がるなど評判 は上々の様子。阿蘇市では、今年度からさらに棟数を増 やして本格的に塩ビサイディングを施工していく予定 で、現在その入札が行われています。

●今年度の目標は「10自治体での新規受注獲得」



阿蘇市の新小里集会所

今回の阿蘇市の動きと は別に、同社の製品は数 年前から、雲仙市のやま びこ会館、島根県隠岐 島の駐在所や山口県萩 市のダムの取水ボンプ場

などに採用された実績を積み上げてきており、今年3月 には秋田県男鹿市の小学校の外壁にも採用されていま す。このケースは、塩害で劣化した築7年の校舎の1階 部分を試験的に改修したもので、経過が順調であること から今年度は全面改修が行われる予定となっています。

以上のような実績をテコに信越ポリマーでは、これま で戸建て住宅のリフォームを中心に進めてきた塩ビサイ ディング事業を、全国の公共物件に向けて拡大していく 計画で、今年度は「とりあえず10自治体での新規受注獲 得」を目標に活動を強化しています。

「実際の施工は先になっても、今年度の計画の中で塩 ビサイディングの採用を決定してくれる自治体を10カ所 受注したい。棟数や売上の多寡はひとまず脇に置いて、 とにかく事例を増やすことを第一に長い目で仕事をして いく。また、公共物件といっても住宅ばかりでなく、公 民館、集会所、廃棄物集積所などの施設も手がけていく 計画で、既に阿蘇市では小里地区の集会所をリフォーム した実績もある

同社には早くも熊本市、長崎市、鹿児島市などから引 き合いが来ているとのことで、宮本マネージャーは「長 崎市では塩害対策、鹿児島では火山灰対策もセールスポ イントに話し合いを進めていく」としていますが、一方 で「今後全国の自治体に展開していく上では、やはりラ ンニングコストの安さが最後の切り札になるだろう」と の見方も示しています。

「塩ビサイディングはあくまでも塗装の代わりという のが我々の考え方。もちろん塩害、凍害対策という点も 大きな要素だが、そうした問題と無縁な地域に対して は、塗装して10年持たせるか、塩ビサイディングを張っ て30年持たせるかという視点で、コストパフォーマンス を訴えていくことが最も効果的だと思う

●断熱性能、リサイクル適性などをアピール

「当社が塩ビサイディングを市場に出してから8年 目。事業は今やっと緒についたところで、これからが正 念場だが、塩ビサイディングに対する社会の認知度はこ こ数年で確実に上がってきており、当社のホームページ へのアクセス件数も個人ユーザーを中心に急増している」 こうした中、将来戦略として重視されているのが「環 境性能のアピール」です。

「もともと塩ビは断熱性の高い樹脂。塩ビサッシへの 期待が高まっているのも、その断熱省エネ効果による が、これに塩ビサイディングと断熱材を組み合わせれば 家屋の断熱性能をさらに高めることができる。また、リ サイクルへの対応も今後のポイントで、実証データを蓄 積しながら、金属系などに比べてリサイクルしやすいこ とを積極的に訴えていきたいし、業界全体でリサイクル の取り組みを進められるようになれば、塩ビサイディン グの需要はさらに加速していくと思う」

塩ビサイディングのリサ イクル適性は樹脂サイディ ング普及促進委員会の試 験結果(前頁)からも窺え ることで、業界の環境対応 の進展が注目されます。



新築での施工例も増えています

インフォメーション

快調、住宅エコポイント。 エコリフォームが加速

山形県鶴岡市でも「塩ビサッシで断熱改修」。 利用者から喜びの声



住宅エコポイント制度がスタートしておよそ半年。塩ビサッシ(内窓、外窓)を利用した窓の断熱改修が大きな伸びを示すなど、環境の時代にふさわしい家づくりをめざす試みは、全国的に快調な動きを見せています。今回は、山形県鶴岡市で早くからエコ住宅の普及に取り組んできた街親和創建を訪ね、エコポイント開始後の普及の状況、制度を利用する人々の評価と今後の課題などを取材しました。

●塩ビ内窓の出荷が急増。対前年比3~4倍

住宅エコポイントは地球温暖化対策の推進と経済の活性化などを目的に、国土交通省、経済産業省、環境省が 三省合同で実施している事業です。

一定期間内に行われた、①エコ住宅の新築(省エネ法のトップランナー基準相当の住宅、または省エネ基準(平成11年基準)を満たす木造住宅)、②エコリフォーム(窓や外壁、屋根、天井、床などの断熱改修、またはこれらと一体的に行うバリアフリー改修)に対して、様々な商品や追加工事費用などと交換可能なポイントを発行するもので(一戸当り最高30万円分)、2009年度2次補正予算により正式決定された後、2010年3月8日から申請受付がスタートしています(制度の詳細は住宅版エコポイント事務局のホームページ参照 http://jutaku.eco-points.jp/)。

同事務局がまとめた7月末時点での住宅エコポイントの 実施状況を見ると、ポイントの発行対象となった工事件 数は3月からの累計でおよそ9万6000件。うちリフォーム

住宅エコポイントの実施状況(2010年7月末時点/累計)

	戸 数		件 数	
新築	23,051戸 (23.5%)	21,204件 (22.1%)		
リフォーム	75,155戸 (76.5%)		窓の断熱改修	73,617
		74,676件 内 (77.9%) 訳	外壁、床等断 熱改修	3,097
			バリアフリー	14,031
合 計	98,206戸 (100%)	95,880件 (100%)		

(註 リフォームの内訳には、一件の申請で複数の改修を行った場合の重複を含む)

が8割近くを占めていますが(下の表)、中でも好調なのが窓の断熱改修で(ガラス交換、内窓の追加設置、外窓の交換)、その数7万3600件余りと、6月末の約4万8000件から、わずか1カ月で5割以上の伸びを示しています。

これに伴って、リフォーム用塩ビ内窓の出荷も急増しており、経済産業省がサッシメーカーなどへの聞き取り調査に基づき推計した結果では、塩ビ内窓の出荷量は、対前年比3~4倍に達しています。

●賃貸住宅に塩ビ内窓を設置した例も

社会の環境志向を背景に順調な走り出しを見せている 住宅エコポイントですが、実際の普及の現場の動き、そ して利用者の評価はどうなっているのか、住まいのトータ ルアドバイザーとして活躍する(前親和創建の大滝典子取 締役に話を聞きました。



大滝取締役

「この7月までに窓の断熱改修を3件、外壁、天井等の断熱を2件やらせてもらった。鶴岡市を含む庄内地方というのは、冬の寒さも夏の暑さも厳しい土地柄で、住宅エコポイントが始まる以前に断熱リフォームを済ませてしまった家が多い。その分、エコポイント

のおかげで工事が急増したという感じではないが、家の 断熱性が高くなった上に特典が付くということで、利用し たお客さまはみんな喜んでいる。また、賃貸住宅に塩ビ サッシの内窓を付けたケースでは、借り手が『すごく暖か くて快適になった』と大家さんに感謝していると聞く。大



家さんも満足していて、もう一棟別の貸家もリフォームす る予定になっているが、いずれにしても、エコポイントを もらうために改修するのではなく、ポイントは環境のため に改修した結果もらえるものと考えているお客さまが多い と思うし

ポイントの使い道としては、エアコンの購入や玄関の改 造、商品券との交換などに利用されているほか、工務店 と相談してポイントの一部を次回のリフォームに回すと いったケースも見られます。

下の写真は、内窓の設置、壁の断熱などを行った家の 模様を記録したものですが、このケースでは上限30万ポ イントのうち一部を、年内に行われる2階部分のリフォー ムに利用する予定とのことです。

●不慣れな業者の参入に警鐘

一方、作業の中から検討すべき課題も見えてきたと言 います。そのひとつが、住宅エコポイントのスタートを機 に、断熱改修に不慣れな工務店や他業種からの参入が相 ついでいること。

「太陽光発電などと併せて住宅リフォームも手がける 家電メーカーなどもあるが、改修後の影響や使い方の説 明が殆どなされていないことが多い。例えば、内窓をつ けると気密性能も高くなるので、開放型のストーブを使っ たり洗濯物をたくさん干したりすると結露を起こしたり、 換気不良が起きる可能性もある。そういう問題をちゃんと 説明して換気対策をきちんとする必要を理解してもらった 上で工事をしているのか、ということが非常に気にかか

"温度のバリアフリー" をめざして



(有)親和創建(五十嵐透社長/山形県鶴 岡市日枝乙6、TEL0235-28-3106)

1993年に設立された『建築・五十 嵐』が前身。2000年11月法人化。住 宅に関する工事全般(新築・増改築・ 断熱改修・リノベーションなど)を請 け負うが、中でもエコ住宅の建設とエ コ改修では県内のリーダー的役割を担 う。"温度のバリアフリー"を掲げ、 「住む人の身体に負担がなく、温度差

を感じずにオールシーズンまるごと使える家を、できる限り 小さなエネルギー消費で実現する」ため活動を続けている。 住まいと環境東北フォーラム、家と人の会会員

る。初めに商売ありきで、ただ内窓を付けてしまえばい いというのでは、住宅を良くしようという制度本来の意 義が歪んだ方向に変わってしまう

と、大滝取締役は警鐘を鳴らしています。

●全体として効果の大きい政策

また、壁や床の断熱改修でも「断熱材の素材、性能に 見合った認定基準の設定が必要」だといいます。

「特に床断熱の場合、地面からの湿気を吸いやすいグ ラスウールより、発泡ポリスチレン系やフェノール系など 高性能のプラスチック断熱材のほうが少量で効果を発揮 するが、ポイントがもらえる使用量(容積)の基準が同 一に設定されているため、グラスウールではポイントが もらえるのに、プラスチック断熱材は数量が基準に達し ないのでもらえないという現象が起きている。我々として は、床下には湿気による落下などの心配のないプラス

> チック断熱材を使いたいが、現状では、 相当大量の面積をやらないとポイントの 対象にならないし

> このほか、ポイントの上限が新築とリ フォームで同一になっていることの問題 点なども指摘されていますが、同社の 五十嵐社長は、「住宅エコポイントは、環 境性能の高い家が恩恵を受けられるよう、 建設業界や塩ビ業界などが頑張ってきた ことが形になったもの。家屋の環境だけ でなく、住宅着工件数の増加にも役立っ ており、全体としては、やはり効果の大 きい政策だと思う」と評価しています。

キッチンのリフォームの模様





改修中(塩ビサッシの内窓設置と壁の断熱)

改修後

居室のリフォームの模様





改修前

改修後

温泉でトラフグ養殖。『ユニーク町おこし』に塩ビもひと役

養殖用水槽に塩ビターポリンを使用。 丈夫で長持ち、施工もカンタン

温泉水でトラフグを養殖するというオドロキの試みが、世間の 耳目を集めています。栃木県那珂川町で進められているこのユ ニークな町おこしに、ひと役買っているのが塩ビターポリン(帆 布)。耐久性に優れ、施工もカンタンという特長から、養殖用の 水槽に使われていると聞いて、本誌もさっそく現地取材を敢行。



塩ビターポリンの水槽がひと役

●那珂川町里山温泉トラフグ研究会

那珂川町は栃木県の北東部、アユの漁獲量日本一を誇 る自然豊かな町です。海水魚トラフグの養殖に取り組ん でいるのは、この町で水質や土壌を調べる会社を経営す る野口勝明さん。

野口さんは、同町で湧き出る温泉水の分析を手掛ける うち、その塩分濃度に着目。生理食塩水とほぼ同じ1.2% の濃度が海水魚の養殖に適していると判断し、「どうせな ら高級魚を」とトラフグの養殖を思いついたといいます。 2008年11月には、栃木県水産試験場や宇都宮大農学部の 技術支援を受け、地元企業などと共同で「那珂川町里山 温泉トラフグ研究会」を結成。廃校となった小学校の教 室に養殖用の水槽を5つ設置し、温泉水をトラックで運 び入れて、本格的な研究に着手しました。



が早いこと。通 常、海での養殖が 出荷までに1年半 ほど掛かるとされ ているのに対し、 温泉育ちの見事なトラフグ

温泉水を使った

養殖の利点は育ち

年間を通じて水温を23~24℃に保てる温泉水での養殖 は、水温低下に伴う冬場の食欲減退を防げることなどか ら1年程度で出荷できます。ただ、海水養殖に比べると 塩分濃度が低いため(海水の塩分濃度は3.6%程度)肉が 軟らかくなるのが難点とのことで、同研究会では、一定 時間海水で泳がせるなどの試行錯誤を重ねて徐々にこの 問題を改善。昨年6月には関係者を集めて、体長30cm重

さ600gにまで成長したトラフグの試食会を行い、食味も 良好との評価を得たといいます。

●2011年度中に商品化の計画

現在試験飼育されているトラフグの数は1200匹余り (水槽1槽当りおよそ250匹)。この水槽に使われているの が塩ビ製ターポリンです。

塩ビターポリンとは、ポリエステルなどの合成繊維や ガラス繊維などの織物に塩ビ樹脂を両面(または片面) コーティングした製品で、丈夫で長持ちするため帆布や テントの生地、フレコン、建築養生シート、かばん生地 やトラックの幌などに幅広く利用されています。

施工も手軽で、排水口が容易に作れるなどの利点があ るため水槽にも適しており、今回のトラフグ以前にも、 イワナやヤマメなどの養殖に用いられた実績があります。

同研究会では、今年度養殖用水槽をさらに5つ増やし、 1槽あたり350匹のトラフグを育てる過密養殖にチャレン ジ中で、2011年度内には、1万匹出荷を目標に商品化(地 元温泉・宿泊施設への地域ブランドとしての提供や、 ネット販売への販路拡大など) にこぎつける計画。

フグの養殖は長崎県や熊本県など西日本の臨海地域が

中心ですが、果た して海なし県・栃 木の温泉トラフグ もその仲間入りと なるか。今後の動 きから塩ビ業界も 目が離せません。



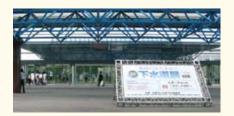
丸型くみたてそう(一般水用)



底報だより

「長寿命でリサイクルにも適した塩ビ管」をPR 塩化ビニル管・継手協会が「下水道展 '10名古屋」に出展

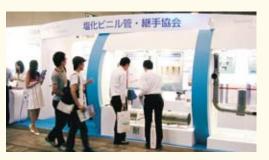
塩化ビニル管・継手協会は、7月27日~30日まで名古屋市港区の ポートメッセなごやで開催された「下水道展 '10名古屋」(主催=(社) 日本下水道協会)に出展。各種の製品・パネル展示、パンフレットの 配布などにより「長寿命でリサイクルにも適した塩ビ管」をアピール しました。関連の話題と併せて、会場のひとコマをピックアップ。



●埋設後30年経過した塩ビ下水道管が話題

下水道展は、下水道の設計・測量、建設、管路資器材、維 持管理などに関する最新の技術と機器等を一堂に集めて紹介す る業界最大の総合イベント。7年ぶりの名古屋開催となった今 回は、「循環のみちを拓く」をメインテーマに278社・団体が 出展。4日間の来場者数はおよそ7万6000人に達しています。

今回の塩化ビニル管・継手協会のブースは、塩ビ管の耐震性 と耐久性、リサイクル性などを中心としたもので、開催当日 は、国十交通省の三日月副大臣、松井下水道部長、名古屋市の 河村市長も見学に訪れました。



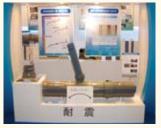
塩化ビニル管・継手協会のブース

中でも話題を集めたのが、名古屋市上下水道局管内から掘り出された埋設後30年経過した塩ビ下水道管 の実物展示。引張り試験や伸び試験の結果から、基本性能が殆ど劣化していないこと、継手に使われたゴム 輪も殆ど変化がないこと、などの説明を受けた来場者の中には、「塩ビ管が50年以上持つということは聞い ていたが、実際に見ると改めて驚く といった感想を洩らす人も。

また、塩ビ管と継手を使用した耐震配管モデルや、リサイクル塩ビ管の配管モデルの展示なども、地震や 環境に対応した技術開発の事例として来場者の注目を集めました。



30年経過の塩ビ下水道管



耐震配管モデル



リサイクル塩ビ管の配管モデル



リサイクル管の展示

●塩ビ管メーカーや関連団体も出展

会場では、塩化ビニル管・継手協会以外にも、塩 ビ管メーカーや関連団体が多数出展して、それぞれ の最新技術を公開。

来場者は、老朽化の進む日本の下水道を手早くリ ニューアルする非開削型の塩ビの管路更生工法や、 独自技術を駆使した塩ビのリサイクル管・継手の展 示などに関心を寄せていました。





非開削型の塩ビの管路更生工法に見入る来場者

協賛企業一覧(50音順)

アキレス(株) サンビック(株) 田岡化学工業株 日本ビニル工業(株) (株)ADEKA (株)ジェイ・プラス タキロン(株) 日本プラスチック工業(株) 旭有機材工業㈱ シーアイ化成(株) 竹野(株) 日本ロール製造(株) (株)タジマ アロン化成(株) シージーエスター(株) 長谷虎紡績㈱ インターフェイスオーバーシーズ バンドー化学(株) 昭和エーテル(株) 龍田化学㈱ ホールディングインク ㈱タツノ化学 日立化成フィルテック(株) (株)ヴァンテック 信越化学工業㈱ (株)ウェーブロックインテリア 信越ポリマー(株) (株)デコリア 広島化成(株) フクビ化学工業(株) MKVドリーム(株) 新第一塩ビ(株) デンカポリマー(株) オカモト(株) 新日本理化(株) (株)トーエイ 富双合成(株) 住友ベークライト(株) プラス・テク(株) 鹿島塩ビモノマー(株) 東栄管機㈱ (株)カネカ 住江織物㈱ 東ソー(株) 前澤化成工業㈱ 勝田化工(株) スリーエイ化学(株) 東武化学工業㈱ 丸喜化学工業㈱ ㈱川島織物セルコン ゼオン化成(株) 東リ㈱ マロン(株) 関東レザー(株) 看水化学工業(株) トキワ工業(株) 三井化学ファブロ(株) (株)トクヤマ キクチカラー(株) 積水成型工業(株) 水澤化学工業㈱ 岐阜プラスチック工業(株) 大協化成工業株 徳山積水工業(株) 三菱化学(株) 共和レザー(株) ダイニック(株) 株トッパン・コスモ 三菱樹脂(株) クボタシーアイ(株) DIC(株) NIケミテック(株) 明和グラビア(株) 黒金化成(株) 大日本印刷(株) (株)ナンカイテクナート 山本産業(株) グンゼ(株) 大日本プラスチックス(株) 日東化成(株) リケンテクノス(株) 京葉モノマー(株) 大八化学工業㈱ 日本ウェーブロック(株) ロンシール工業(株) 堺化学工業(株) 大洋塩ビ㈱ 日本カーバイド工業(株) 山天東リ㈱ 大洋化学工業㈱ 日本絨氈(株)

編集後記

「トップニュース」では、塩ビサッシ用形材のJISが4月制定という朗報。名称は、「無可塑ポリ塩化ビニル製建具用形材」。早速、国交省の営繕管轄の発注工事の見積り仕様となり、またベターリビング優良住宅部品認定基準の制定につながる。今後の展開に大きな期待がかかる。

「視点・有識者に聞く」では、東京都の中央区環境保全ネットワーク代表の川名一榮氏にご登場をお願いしました。「より良い地球環境を次世代に」をモットーに、中央区で地域に根ざした活動にまい進。特に体験型学習イベントの「子どもとためす環境まつり」を毎年開催し、区内の小学校を会場にすることで生徒も先生も発表するという独自の活動。新しい「サーモンプロジェクト」も実現しつつ、すばらしい。各種の活動は、中央区役所の環境部長さんからも高い評価。ますますのご発展を祈っております。

「インフォメーション」では、塩ビサイディングや塩ビサッシの普及状況の紹介。

(その1)塩ビサイディングの紹介。ここ数年、販売の伸びが著しい。今年に入って、熊本県阿蘇市の市営住宅の外装材に採用され、特に耐久性と塗装不要等によりランニングコストが小さいことが採用のポイント。自治体の市営住宅への全国展開に向け大きな期待。

(その2)塩ビサッシの紹介。住宅エコポイント制度で、エコリフォームが加速。中でも、塩ビ内窓の採用が大幅に増加。実例として、山形県 鶴岡市の親和創建を取材。塩ビ内窓設置と外装の断熱化の施工状況を紹介。問題点はあるが、住宅エコポイントの政策を高く評価しております。 (佐々木 慎介)

お問い合わせ先

塩化ビニル環境対策協議会 Japan PVC Environmental Affairs Council

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1(住友六甲ビル8F) TEL 03(3297)5601 FAX 03(3297)5783